

リビングよりもお茶の間と言った方が馴染みがあった頃。 多くの家庭にはきまって人が集まるところに急須がありました。 家人が帰ると、当り前にお湯が注がれ、熱いお茶を淹れる。 そのちょっとした"間"が団らんにつながっていく。 お茶の間は、家族が自然に集う心身のあたたまる場だったのです。 スウェーデンハウスには家中にそんな空間があります。 家中を温もりで包み、廊下でも窓辺でも思い思いの空間で、 現代のお茶の間を楽しむことができます。 エネルギーを無駄にせず、自然のサイクルと寄り添いながら、 スウェーデンハウスはご家族を末長くあたためます。

時を超えて人をつなぐ家を。

The Performance For Our Planet



